

生協って何だろう？

7月30日は「生協の日」!



商品を販売しているだけでなく、地域でイベントを開催したり、環境問題に取り組んでいたり...。生協はさまざまな活動をしています。一体どんな組織なのか考えたことはありませんか？
7月30日の「生協の日」にあわせて、改めて生協のことを考えてみましょう。

Q1 生協はなぜ「コープ」と言うの？

- ① 英語で「会社」の意味だから
- ② 英語で「協力」の意味だから
- ③ コープさんが生協を作ったから

生協は、みんなの願いをかなえる組織

「安全で安心できる商品がほしいな」「便利に買いたいな...」。私たちの暮らしの中には、さまざまな願いがあふれています。こうした願いは、一人ではかなえることは難しくても、みんなの力を合わせれば実現できるかもしれません。そこで生まれたのが生協（コープ）です。みんなが協力し助け合うことで、一人ひとりの願いを実現することを目指しています。

食品や日用品を購入するだけでなく、スー

Q2 生協がやっていることはどれ？

- ① ペットボトルを回収し商品のパッケージなどにリサイクルしている
- ② 配達中に高齢者などの異変に気付いた場合自治体の窓口などに連絡している
- ③ 物流施設などに太陽光発電パネルを設置し発電した電気を純買員に届けている

生協は、ESDジェネレーションズ達成への重要な存在

生協の成り立ちや目的は、SDGsが目指す「誰一人取り残さない」社会と同じもの。また生協はリサイクル活動や環境に配慮した商品の取り扱いなど、SDGsが採択されるずっと前から、持続可能な社会づくりに取り組んできました。人と人とのつながりを大切に

7/30 生協の日

消費生活協同組合の日

生協の取り組み

より良い暮らし、持続可能な社会づくりのために、例えばこんな取り組みをしています

リサイクルの推進



再生紙に



生産者への支援

フードドライブの推進



「誰一人取り残さない」社会の実現へ



こちらからも「生協の日」情報をチェック!



クイズの答え:

Q1. = ② Q2. = 全部!

バーマーケットやインターネット通販などでもできます。生協が企業（株式会社）と大きく異なるのは、より良い暮らしのために私たち自身がお金（出資金）を出し合って組合員となり、さまざまな場で意見を出し合って運営の方向性を決め、商品やサービスを利用していること。組合員による組合員のための組織だから、みんなの願いを実現できるのです。



ながら、より良い社会を目指す生協協同組合は、SDGsでも目標の達成に重要なステークホルダー（関係者のひとつとして位置づけられています）。

「協同組合」はユネスコ無形文化遺産です

協同組合は19世紀にヨーロッパで始まり、日本を含め世界各地に広がりました。国連教育科学文化機関（ユネスコ）は、2016年に「協同組合」において共通の利益を形にするという思想と実践をユネスコ無形文化遺産に登録。さまざまな形で私たちの暮らしを支える協同組合の目的や活動が、人類の大切な財産であり受け継いでいくものとして国際的にも評価されています。

7月30日は「生協の日」!

生協は「消費生活協同組合法（生協法）」という法律で定められており、コープデリグループのような宅配やお店を展開する地域生協や、医療・福祉事業を担う「医療生協」、大学の学生や教職員のための「大学生協」などがあります。全国の生協数は500以上、組合員は3000万人以上！生協は、私たちの暮らしにとって身近な存在でもあります。

こうした生協の事業や活動をもっと広く知っていただくため、7月30日を「消費生活協同組合の日（生協の日）」として記念日登録しました。これは生協法が公布された1948年7月30日にちなんだもの。生協の日に向けて、コープデリグループでもさまざまなキャンペーンを実施します。お楽しみに！

※2022年度末、日本生協協同組合連合会調べ

宅配

7月4日「ハビ・デリ」の表紙で「職員に聞きたい推しコープ商品」第1位の商品を紹介。また7月1回〜4回商品カタログでロングセラー商品や組合員のおすすめ商品などを紹介するほか、7月5回「ハビ・デリ」で全国の生協職員の推し商品とコメントを特集します。誌面をお楽しみに！

お店

7月30日「火」のチラシで全国の生協職員の「推しセレクション」を発表。職員おすすめのコープ商品をお買い得で購入できるチャンスです！※一部コープのお店がない地域もあります。また「ハビ・デリ」は除きます。

コープデリグループは、事業と活動を通して「SDGs（持続可能な開発目標）」の達成を目指しています。



今回の取り組みは、目標17:

パートナーシップで目標を達成しよう
につながっています。

